2026 年 10 月 30 日

関係各位

食品開発展 2026　行政との合同セミナー実施レポート

一般社団法人　健康食品産業協議会
広報委員会

開催趣旨　機能性表示食品制度を取り巻く環境が変化する中、行政と健康食品産業協議会(JAOHFA)の取り組みと課題を共有し、制度の適切な運用と健康食品産業の健全な発展につなげることを目的に開催しました。またJAOHFA の活動を会員企業以外の方々にも知っていただく機会と捉えています。

開催概要

日時	会場	参加者
2026 年 10 月 14 日(水) 14:00～16:20	東京ビッグサイト 西 4 ホール PM 会場	150 名

プログラムと主な内容

消費者庁講演	食品表示課 保健表示室 課長補佐 荒川尚子氏が、制度見直しの内容を説明。健康被害情報の報告、GMP、食品表示、届出後の自己点検・定期報告を中心に、届出者の責務と制度への信頼確保の重要性が示されました。
JAOHFA 4 分科会	ガイドライン、エビデンス向上、公正競争規約、健康食品原材料・製品の製造・品質の各分科会が、それぞれの取り組みを紹介しました。 ▼分科会の取り組みはこちら。 https://www.jaohfa.com/organization.html#guideline
パネル ディスカッション	定期報告制度の初年度運用、届出データベース、PRISMA2020、広告・容器包装表示、GMP における情報共有などをテーマに意見交換を行いました。

成果・今後に向けて

行政と JAOHFA が、制度改正後の運用状況や実務上の課題について意見交換を行いました。定期報告制度の運用、届出データベースの改善、PRISMA2020SR への対応、広告・容器包装表示、GMP における情報共有などを通じて、制度の適切な運用と信頼性向上に向けた課題や対応の方向性を共有し、行政と業界が連携して制度の実効性を高めていく重要性を確認しました。また会員企業の方のみならず、多くの方々に「業界の今」をお伝えできる機会となりました。JAOHFA は今回のセミナーおよびアンケートで寄せられた意見を今後の活動に活かし、行政や関係団体との対話を継続するとともに、各分科会の活動を通じて、制度の適切な運用、科学的根拠の質の向上、適正な情報提供、安全性・品質確保に取り組み、健康食品産業の健全な発展に貢献していきます。



登壇者(左から 3 人目:消費者庁 荒川尚子氏、4人目:座長 JAOHFA 理事 西村栄作氏)



会場内の様子

以上

― 本件に関するお問い合わせ先 ―
一般社団法人 健康食品産業協議会 https://www.jaohfa.com/
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 2-7-27
担当者:梶原　Email:office@jaohfa.com